

校名	府立たまがわ高等支援学校
校長名	坂田 定之

開催日時	令和7年5月13日(火) 10:00 ~ 11:50
開催場所	たまがわ高等支援学校 会議室
出席者(委員)	協議会委員6名 会長：土口千恵子(四天王寺大学 教授) 副会長：松家直美(府立たまがわ高等支援学校 PTA会長) 【以下五十音順】 岡本弘美(府立たまがわ高等支援学校 卒業生保護者)  奥村貴寿(ハウスあいファクトリー株式会社 代表取締役社長) 酒井京子(大阪市職業リハビリテーションセンター 所長) 中村一誌(稲葉第一自治会 会長)
出席者(学校)	事務局員10名 坂田定之(校長) 関田渉(教頭) 吉岡宗一(事務長) 勝井玲奈(首席) 川島秀文(首席) 有馬成人(地域支援部長) 中島武彦(進路指導主事) 吉村晴海(指導教諭) 佐野悠矢(学習支援部長) 高橋唯(生活支援部長兼生徒指導主事)
傍聴者	なし
協議資料	〈資料1〉学校運営協議会実施要項 〈資料2〉令和6年度学校経営計画及び学校評価について(報告) 〈資料3〉令和7年度学校経営計画及び学校評価について 〈資料4〉進路指導の状況について(報告) 〈資料5〉生徒指導の状況について(報告) 〈資料6〉令和7年度教科書について 〈資料7〉「Safety Bicycle 推進校」プロジェクト資料
備考	

議題等(次第順)

- 学校運営協議会実施要項
- 令和6年度学校経営計画及び学校評価について(報告)
- 令和7年度学校経営計画及び学校評価について  
進路指導の状況について、生徒指導の状況について、令和7年度教科書について、「Safety Bicycle 推進校」プロジェクトについて

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- 学校運営協議会実施要項 〈承認6名〉  
本年度の会長、副会長選出。概略の説明。
  - 令和6年度学校評価について(報告) 〈確認〉  
令和6年度の学校評価については前年度の第3回にて承認済み。
  - 令和7年度学校経営計画について 〈承認〉
- ◎学校経営計画について
- ・昨年度第3回会議より変更あった箇所に網掛け。△については新年度の計画に盛り込み、○の項目については指標変更等している。学校経営推進費関連も計画に盛り込んでいる。中期的目標は基本変更なし。2(2)イに関しては達成が進んでいるのでさらに上回る設定をしている。
  - ・共生を意識したブログやInstagramの投稿を行う。国からリーディングスタッフの加配が1名分ついたので今年度3名体制にし、高等学校とも積極的に関わる。近隣高等学校へ訪問し、授業見学を積極的に行い高等学校の実態を知る。高等学校通級指導教室担当者の会議にアドバイザー参加する。
  - ・「Safety Bicycle 推進校」プロジェクト2期指定され、4月30日にプロジェクト指定書交付式が行われた。
  - ・姉妹校交流支援事業において支援学校においても本校を含む9校が実施校として指定された。
  - ・時間外勤務時間は高等支援学校5校の中で一番短い。
- ◎進路指導の状況について
- ・サービス業(介護施設や飲食店含む)と販売業への就労が多い。工業高校卒の生徒が就労していた会社の採用者不足により、製造業で高卒求人による正社員雇用ケースがあった。無期雇用労働者のうち半数程度が正社員雇用である。
- ◎生徒指導の状況について
- ・全体一斉指示が通りにくい生徒が増えてきた。校内でのスマホ利用に関して生徒会で考える機会を設けた。生徒会役員の間では、スマホを校内利用するメリットを感じる生徒は少なかった。スマホを持ってない生徒の気持ちを考えるとどうなのかということや、勉強の時間帯に使う理由がないという意見もあった。今後全生徒の意見を聞いていく方向。

意見

- ・中学生に向けての取組で広報ミニブックを作成した。ミニブックは”生徒の写真が多く掲載されているので見やすい””多様な経験ができるのが強みの本校の取り組み内容がよく分かる””先生方がよく頑張っておられるので、その先生方の顔写真がもっとあってもいいのでは?”という意見があった。ミニブックは中学生向けに作成されているが、本校のことは低年齢児から知ってもらうことが必要だと思うので、放課後デイサービスで配布するなど広報の範囲を広げてみてはどうか。放課後デイサービスは生活の場として活用する生徒が多いので放課後デイの方にも情報を知ってほしい。可能であれば、高等支援に進学するメリットのメッセージや進路実績を書いてはどうかという意見もあった。
- ・リーディングスタッフがアドバイザーとして高等学校通級指導教室担当者の会議に参加するのはお互いの学びになるので今後の活躍に期待したい。
- ・自転車のルールなど法律が厳しくなっていく。自分事として捉えると理解しやすいので生徒同士で考えていく時間を設定してほしい。ヘルメットをかぶっている生徒が増えた印象がある。下校時に歩道を広がって歩く生徒がまだいる。近隣の人はいつも見ているので、教員が見回りしなくても交通マナーを守るよう自覚を促す指導をしてほしい。
- ・生徒にとって学生生活は3年間しかないもので、もりだくさんな内容でも問題ないと思う。1(3)(3)ウ 質問項目を見直す際にはAIに「小学生向けに言い換えて」と聞くなどして、分かりやすい言葉に置き換えるなど設問の工夫をしてみてもどうか。
- ・たまがわに入学するのが難しいという噂をどう払拭するか。大阪市職業指導センターも倍率が4倍の時代があったので、現在は定員割れとは知られておらず敬遠される。現時点の情報をどう発信するかを考えていってほしい。

次回の会議日程

日時	令和7年12月
会場	たまがわ高等支援学校